

ERE information

Vol.31 2017年2月27日発行

発行/特定非営利活動法人 日本経済学教育協会・事務局 発行責任者/石倉 正光
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町3番21号/電話(03)3267-4819/http://www.ere.or.jp/

Contents

- ▶第31回経済学検定試験：『EREミクロ・マクロ』の受験者数 過去最多に！
—— 合計応募者数は、前回は大幅に上回る ——
- ▶第26回EREミクロ・マクロ「大学対抗戦」：東京大学大学院チームが初参加で優勝！
- ▶<「大学対抗戦」優勝チームを福田慎一先生が表彰>
 - ・経済学の根幹を担う知識を横断的に身に付けるために！（優勝チーム 井田憲宏さん）
 - ・5連覇できなかった悔しさを後輩達に託して！（準優勝チーム 古郡拓也さん）
 - ・個人受験から、チーム受験で好成績へ！（個人賞トップ 金重洸紀さん）
- ▶第27回EREミクロ・マクロ「大学対抗戦」参加チーム募集！
- ▶就活のエントリーシートにEREの成績を明示
- ▶第32回ERE実施要領
- ▶委託会場制度の利用のご案内

◀第31回経済学検定試験▶

『EREミクロ・マクロ』の受験者数 過去最多に！
合計応募者数は、前回は大幅に上回る

2016年12月4日（日）に実施いたしました第31回ERE、EREミクロ・マクロの成績結果がまとまりました。受験者およびおとりまとめご担当者の皆さまへの試験に関するご通知とご報告は、すべての手続等を完了しております。

今回のERE、EREミクロ・マクロの合計応募者数は1,675名で、昨年7月実施、第30回の合計応募者数（1,188名）を487名上回りました。特に応募者が多かったのは、明海大学（166名）と九州共立大学（115名）でした。また、琉球大学、首都大学東京、山口大学、福島大学、長崎県立大学、初参加の東京大学大学院、北海道教育大学などの国公立大学の応募が目立っています。今回のEREミクロ・マクロの受験者数は1,301名で、第17回（2009年12月）の1,244名を上回り、過去最多となりました。

成績概要は、<資料1・2>のとおりです。

EREは前回の平均点を18.8点下回りました。マクロ経済学、財政学などの平均点が前回を下回り、平均点が低下しました。EREミクロ・マクロの平均点も前回を下回りました。

◀資料1-1▶科目別成績『ERE』

科目	ミクロ経済学	マクロ経済学	財政学	金融論	国際経済	統計学
配点	250点	250点	100点	100点	100点	100点
平均点	129.7点	133.1点	51.6点	48.1点	45.7点	34.9点
(前回)	132.5点	140.0点	62.3点	42.1点	37.1点	47.9点
標準偏差	50.79点	36.99点	21.73点	16.02点	17.43点	15.39点
(前回)	45.23点	43.81点	24.78点	22.56点	16.33点	20.41点

《資料1-2》

『EREミクロ・マクロ』

科目	ミクロ経済学	マクロ経済学
配点	250点	250点
平均点	111.5点	106.0点
(前回)	108.5点	115.4点
標準偏差	50.52点	41.18点
(前回)	45.41点	40.47点

《資料2》

成績概要

	ERE	EREミクロ・マクロ
応募者数	106名	1,569名
受験者数	68名	1,301名
平均点	443.1点	217.4点
標準偏差	117.26点	85.26点
最高得点	700点	480点
最低得点	240点	30点

《資料3》団体応募状況

□ ERE/EREミクロ・マクロ					
1	明海大学	166	20	立正大学	14
2	九州共立大学	115	20	広島修道大学	14
3	琉球大学	55	25	大分大学	13
4	首都大学東京	53	26	関東学院大学	11
5	龍谷大学	48	27	名古屋市立大学	10
6	名古屋学院大学	38	27	旭川大学	10
7	大阪産業大学	35	27	酪農学園大学	10
8	大阪経済大学	34	30	弘前大学	8
9	専修大学	31	30	東京大学大学院	8
10	日本大学	29	30	武蔵野大学	8
11	麗澤大学	28	30	明治大学	8
12	岡山商科大学	27	34	北海道教育大学	6
13	久留米大学	23	34	お茶の水女子大学	6
14	札幌大学	21	36	立命館大学	5
15	青山学院大学	20	37	東京国際大学	4
15	九州産業大学	20	38	熊本学園大学	3
17	中央大学	18	38	新潟産業大学	3
18	山口大学	17	38	長岡大学	3
19	創価大学	15	38	熊本学園大学	3
20	福島大学	14	42	徳山大学	1
20	長崎県立大学	14			
20	跡見学園女子大学	14		個人	695

※団体別応募者の人数は、「団体受験申込者数」+「大学対抗戦受験申込者数」です。

《資料4》『ERE』上位成績者

順位	大学・勤務先名	所属	氏名(敬称略)	ランク
1	専修大学	経営学部	古 郡 拓 也	S
2			丸 山 一 樹	A+
3			—————	A+
3	東京大学	理学部	—————	A+
3			川 合 雅 樹	A+
6			松 田 麟太郎	A+
7			清 水 邦 敏	A+
8			但 馬 和 浩	A
9			—————	A
9	専修大学	文学部	中 村 天 平	A
9	多摩川精機(株)		坂 卷 貴 紀	A
12	みずほ情報総研株式会社		山 本 晃 平	A
13	前川公認会計士事務所	所長	前 川 克 博	A
14			—————	A
14			—————	A
16			秋 吉 樹	B+
16			小 林 奈々恵	B+
18			—————	B+
19			加 藤 誠 史	B+

《資料5》『EREミクロ・マクロ』上位成績者

順位	大学・勤務先名	所 属	氏名 (敬称略)	ランク
1			LIU JINGLIN	S
2	東京大学大学院	公共政策学教育部	金 重 洸 紀	S
3			劉 展 鳴	S
3			YAN SUCHAO	S
5			劉 若 伊	S
5			張 超	S
5			ZHANG XIAOHAN	S
5			章 茜 臻	S
5			LI MENGQI	S
10			MEI SICONG	S
10	東京大学大学院	公共政策学教育部	小 川 正 樹	S
10	明治大学	政治経済学部	高 原 拓 己	S
10			王 磊	S
14			YANG HAINING	S
14			李 及 恩	S
14			WU SHUTING	S
14			Z H A N G L U	S
14			P A N J I E	S
14	東京大学大学院	公共政策学教育部	横 川 雄 祐	S
14	中央大学	経済学部	楊 暁 蕊	S
14			そ う き ん	S
14			賈 麗 萍	S
14	岡山商科大学	経済学部	葉 佳 麗	S
24			肖 雨 虹	S
24			張 成 一	S
24			N I C H E N	S
24			奈 良 龍	S
24			八 木 留 梨 子	S
24			XU SHIHAN	S
24			毛 利 達 朗	S
24			ピョウ シケン	S
24			YOU MENGLEI	S
24	岡山商科大学	経済学部	章 美 霞	S
24	琉球大学	法文学部越野ゼミ	屋 良 朝 希	S
35	北海道大学	経済学部	佐 野 裕 典	S
35			張 一 欣	S
35			WANG XIAOLI	S
35			WU YUTONG	S
35			費 キ テ イ	S
35			徐 凡	S
35			LAI WENZHENG	S
35			LYU RUNZHI	S
35			TU ZHAOYU	S
35			末 吉 直 樹	S
35	東京大学大学院	公共政策学教育部	北 川 諒	S
35			蔡 文 昊	S
35	首都大学東京	都市教養学部経営学系	多 賀 井 秀 真	S
35	名古屋市立大学	経済学部	坂 口 智 史	S
35	熊本学園大学	経済学部 経済学科	西 原 慶 長	S
35	岡山商科大学	経済学部	王 珮 珣	S
35	琉球大学	法文学部	上 原 大 翼	S

《第26回 E R E ミクロ・マクロ「大学対抗戦」》

東京大学大学院チームが初参加で優勝！

準優勝は専修大学「ハイレベルコースA」／個人賞トップは金重洸紀さん

第26回 E R E ミクロ・マクロ「大学対抗戦」は、12校26チーム、計192名で競われました。優勝は、東京大学大学院「経済学愛好会」チームでした。1,750点を獲得して、初参加で初優勝となりました。準優勝チームは、1,530点を獲得した専修大学の「ハイレベルコースA」チームです。第3位には、1,410点を獲得した福島大学の「経済分析同好会」チームが入りました。「大学対抗戦」個人成績のトップは、470点を得点した東京大学大学院「経済学愛好会」チームの金重洸紀さんです。なお、個人賞は400点以上13名の方が獲得しています。

優勝・準優勝チーム、個人賞受賞者の皆さんには、日本経済学教育協会ならびに協賛団体より副賞が授与されます。

参加チーム上位4名までの平均点は247.31点で、前回は27.15点下回りました。

順位	チーム名	学校名	総合得点	平均点
優勝	経済学愛好会	東京大学大学院	1,750点	437.5点
準優勝	ハイレベルコースA	専修大学	1,530点	382.5点
第3位	経済分析同好会	福島大学	1,410点	352.5点

*参加メンバーの上位4名の総合点です。上位4名までの総合点が同点の場合は、チーム全員の平均点で判定します。

《「大学対抗戦」優勝チームを福田慎一先生が表彰》

初挑戦で優勝した東京大学大学院「経済学愛好会」チームを表彰！



東京大学大学院公共政策学教育部「経済学愛好会」チームは、第26回大学対抗戦が初挑戦となりましたが、見事優勝の栄冠を獲得いたしました。

去る2月1日(水)、優勝した東京大学大学院「経済学愛好会」チームを試験委員である福田慎一先生が表彰いたしました(写真)。「経済学愛好会」チームの金重洸紀さんは、以前からE R E試験を受験していた経験から「大学対抗戦」に興味を持ち、急遽、メンバーを募集しての受験とのことでしたが、見事優勝となりました。これを機に、今後も「大学対抗戦」で優勝を続けたいとチームの抱負を語っていました。



優勝を表彰する福田先生(写真上)と「経済学愛好会」チームのメンバー(写真下)

■大学対抗戦 優勝・準優勝チーム、個人賞トップのコメント■

☆優勝 東京大学大学院「経済学愛好会」

経済学の根幹を担う知識を横断的に身に付けるために！

はじめに、第26回E R Eミクロ・マクロ「大学対抗戦」において優勝という成績を残すことができたことを、「経済学愛好会」のメンバー一同、心より嬉しく感じております。

この度の試験において、上記のような成績を収めることができた背景には、個々人の自主学習もさることながら、過去問を利用した模試の実施やメンバー会合での知識の共有が大きく寄与していると考えます。

我々は経済学という学問に魅せられ、それを実務に活かす力を養うべく、本大学院へと進学致しました。本大学院では、年齢や専門分野の垣根を越えた様々なメンバーが集い、経済学的手法を駆使した実証分析などを行っています。その際、経済学の根幹を担うミクロ経済学・マクロ経済学の知識を横断的に身に付け、より高度な内容の理解、発想の展開へと繋げていくことが求められます。「E R Eミクロ・マクロ」試験は、そのような知識を身に付ける目的に適った試験であると考え、今回受験致しました。

我々一同、この度の結果に恥じぬよう、今後も更なる高みを目指して精進して参りたいと考えております。

(東京大学大学院 公共政策学教育部 経済学愛好会 井田憲宏さん)

☆準優勝 専修大学「ハイレベルコースA」

5連覇できなかった悔しさを後輩達に託して！

私たちチームの目標は大学対抗戦で5連覇を成し遂げることでした。それ故に、今回準優勝という結果は非常に悔しく感じています。結果としては満足のいくものではありませんでした。しかし、今回においても、大学対抗戦に向け勉強に励んだことで、経済学の知識をさらに高めることができ、成長できたと思っています。これは石川秀樹先生のご指導とエクステンションセンター事務課職員の方々のご協力があったことだと実感しています。そして本検定試験関係者の方々にも、この場をお借りし、感謝申し上げます。

また、私たちはこの検定試験を、経済学の実力を客観的に把握するために活用してきました。そのため、個々人やチームの結果から、強みや弱みを理解でき、大変有意義であったと思っています。

今までに学んだことや反省点など、さまざまな経験を後輩達に伝承し、私が成し遂げることができなかった目標を託したいと思います。私はこの春大学を卒業しますが、この検定試験を受験することで培った経済学の知識は、今後社会に出た後でも役立つものと確信しています。

(専修大学 ハイレベルコースA 古郡拓也さん)

☆個人賞トップ

個人受験から、チーム受験で好成績へ！

この度は、E R Eミクロ・マクロ「大学対抗戦」において個人賞トップという結果を残すことができ、光栄に思います。

私は経済学部出身で、これまでも経済学の知識を忘れないように年2回のE R Eを受験していましたが、今回、今までで一番良い成績を収めることができました。これはチームとして対抗戦に参加し、勉強会などでメンバーと切磋琢磨したことや、大学の名前を背負って戦うプレッシャーなどによる結果だと考えています。軽い気持ちで誘ったにも関わらず、連絡等様々なことをしてくれた井田君をはじめ、チームメンバーにはとても感謝しています。

今後は、私個人としてはE R Eを受験し続けるつもりであり、受験者全体のトップや満点を目指して精進していくつもりです。「経済学愛好会」としても、E R Eミクロ・マクロ「大学対抗戦」に参加し続けるつもりであり、連覇、特に平均点450点以上での優勝を目指して活動を続けていきたいと考えています。

(東京大学大学院 公共政策学教育部 経済学愛好会 金重洸紀さん)

第27回 E R E ミクロ・マクロ「大学対抗戦」 参加チーム募集！

●2017年7月2日(日) 実施

●受付期間：2017年4月19日(水)～5月19日(金)〈消印有効〉

※エントリー料：無料

●前回まで参加した53校 (50音順)

青山学院大学／跡見学園女子大学／宇都宮大学／大阪大学／大阪経済大学／
大阪産業大学／大阪商業大学／大阪府立大学／小樽商科大学／鹿児島大学／金沢大学／
九州大学／京都大学／熊本学園大学／熊本壺溪塾学園／群馬大学／慶應義塾大学／
埼玉大学／札幌大学／上智大学／成蹊大学／専修大学／創価大学／高崎経済大学／
中央大学／筑波大学(同大学院)／帝塚山大学／東京大学(同大学院)／東京理科大学／
同志社大学／東北大学／東洋大学／長崎県立大学／名古屋大学／名古屋市立大学／
名古屋学院大学／名古屋経済大学／新潟大学／日本大学／一橋大学／兵庫県立大学／
福岡カレッジ・オブ・ビジネス／福島大学／北海道大学／北海道教育大学／武蔵大学／
武蔵野大学／明治大学／山形大学／立命館大学／琉球大学／和光大学／早稲田大学



日経TEST

経済知力スコアで、キャリアアップのチャンスをつかめ！

<http://ntest.nikkei.jp>

「経済知力」とは、知識や情報を有効に活用して、経済のしくみや流れを理解し、新しいビジネスを生み出す能力のこと。日経TESTは、「経済知力」がどのくらい備わっているかを客観的に測ります。社員の能力判定や昇進・採用、人材育成の目的で導入する企業が増えています。レベルアップの目的で受験する個人も増えています。

全国一斉試験 年2回、全国で実施

実施日：**2017年6月11日(日)・11月12日(日)**

会場：札幌・盛岡・仙台・東京・横浜・新潟・名古屋・
金沢・京都・大阪・広島・高松・福岡・熊本

出題形式：マークシート方式による四肢択一

受験料：**5,400円**(税込み)

申込締切：**6月試験 2017年5月10日(水)**

11月試験 2017年10月11日(水)

お申し込みは

日経TEST

検索

就活のエントリーシートにEREの成績を明示

ERE（経済学検定試験）は、Economics Record Examinationの略称で、大学で学ぶ経済学の理解度を評価する検定試験として、2002年3月より年2回実施いたしております。最近、学部学生が就職活動にあたり、エントリーシートにその成績を明示し自己アピールの一手段として利用する学生のみなさんが増えていきます。そのため、採用ご担当者の皆様に本試験の概要につきましてご理解いただきたく、ご案内を申し上げます。

■特 徴

本試験の結果は合否ではなく、SランクからDランクまでの7ランクで評価され、かつ、受験回数に制限がないことにより、何回でも受験が可能です。そのため、本検定試験を経済学に対する学習成果の検証とし、多くの大学生等が利用しております。

また、大学対抗戦においては、参加者自らが自主的にチームを結成し成績を競うことにより、大学の枠を越えお互いに経済学を理解しあう場として利用されています。

■出題科目等

〔ERE〕四答択一式・90問・180分

ミクロ経済学：25問／マクロ経済学：25問／財政学：10問／金融論：10問／
国際経済：10問／統計学：10問 計90問・900点満点

〔EREMикро・マクロ〕四答択一式・50問・100分

ミクロ経済学：25問／マクロ経済学：25問 計50問・500点満点

■活 用 例

- ・専門課程の単位認定試験として
- ・大学におけるカリキュラムの効果測定として
- ・経済学系大学院入学の専門科目の代用として
- ・就職活動における経済学に対する理解度の証明として
- ・自己啓発等の成果の検証として
- ・公務員試験の準備として

■備 考

現在、ERE（経済学検定試験）は、7月・12月の年2回、全国12の試験会場において実施しており、年間約3,000名強の方々が受験しています。その主な受験層は約8割が国公立・私立の大学生・大学院生で、約2割が官公庁・民間企業の受験者となっています。

《資料請求・お問合せ先》

特定非営利活動法人 日本経済学教育協会 事務局
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町3-21
TEL：03-3267-4819／e-mail:info@ere.or.jp

— 経済学の学習到達度を測定 —

2017年度 第32回 E R E 実施要領

『E R E』（6科目）

実施回	第 32 回
試験日	2017年7月2日（日）
試験時間	午後1時00分～午後4時00分（180分）
受付期間	2017年4月19日（水）～2017年5月19日（金）〈消印有効〉
受験料	5,400円（税込）
出題科目	ミクロ経済学／マクロ経済学／財政学／金融論／国際経済／統計学
出題形式	4 択一式／90問，1 問10点，900点満点
持込品	受験票、筆記用具（HB程度の鉛筆またはシャープペンシル〈ボールペンは不可〉、消しゴム）、電卓（ただし、金融計算電卓、関数・メモ機能付きは不可）、顔写真付身分証明書（学生証・運転免許証・パスポート等）

『E R E ミクロ・マクロ』（2科目）

実施回	第 32 回
試験日	2017年7月2日（日）
試験時間	午後1時00分～午後2時40分（100分）
受付期間	2017年4月19日（水）～2017年5月19日（金）〈消印有効〉
出題科目	ミクロ経済学／マクロ経済学（注）
受験料	3,240円（税込）
出題形式	4 択一式／50問，1 問10点／500点満点
持込品	受験票、筆記用具（HB程度の鉛筆またはシャープペンシル〈ボールペンは不可〉、消しゴム）、電卓（ただし、金融計算電卓、関数・メモ機能付きは不可）、顔写真付身分証明書（学生証・運転免許証・パスポート等）

（注）『E R E』のミクロ経済学・マクロ経済学と同一問題です。

委託会場制度利用のご案内

委託会場とは、試験会場の設置および実施・運営のための規程等を遵守することを条件に、団体が申請した施設等を協会が試験会場として認めたものです。

受験申込者を取りまとめ一括でお申込みをいただく場合は「団体受験申込制度」があり、一定の条件を満たせば、委託会場として受験者が所属する学校や会社内に受験会場を設けることができます。

詳細につきましては、検定試験運営センターまでお問合せください。

■検定試験運営センター

〒162-8464 東京都新宿区市谷本村町3-21

TEL：03（3267）4821 FAX：03（3267）4999 e-mail：info@ere.or.jp